

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	高齢者給食サービス事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	石井 由美子			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	65歳以上の高齢者	意図	高齢者が給食サービスを利用することにより自立した生活を継続することができる。
事業内容	日常的に食の調達が困難であると認められることや認知機能の低下により食の管理が困難であると認められる一人暮らし等の高齢者に対し週3回、3食を限度に昼食または夕食を届ける。			
事業開始から現在までの状況変化	平成23年度及び平成27年度に高齢者給食サービス事業の実施に係る規則を、より対象者のニーズに合うよう見直し、平成28年度、29年度の受託事業者選定を行い改良を目指して実施した。平成29年度はよりよいサービスを提供できるよう平成30年度及び平成31年度の受託事業者選定を行なった。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	配食数	7,537	6,967	7,631	食	→→
②	配食利用者数	708	690	730	人	→→	毎月の利用者数の累計	
③	アセスメント実施件数	75	97	91	件	→→	年間のアセスメント実施件数	
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 食の調達や認知機能の低下により食の管理が困難な高齢者を対象として給食サービスを実施した。食の支援は、本事業以外にも介護保険内外に多様なサービスがあり、利用者はその他のサービスを併用しながら、自立した生活を継続している。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		9,412,488	8,998,966	9,419,392				
事業費(b)(円)		6,666,488	6,314,166	6,782,592				
うち一般財源								
職員給与と費(c)(円)		2,746,000	2,684,800	2,636,800				
人役・職員(人)		0.40	0.40	0.40				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	利用者にアンケートを実施し、事業者意見に反映する。その他、利用者に適切なメニューや食形態が選択できることを周知していく。	③取組における課題(Check)	療養食メニューや食形態が選択できることを知らない利用者があるため引き続き周知していく必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	利用者が適切なメニューや食形態ができるように事業者へ給食サービスメニュー等の案内及び、アセスメントの実施を行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	引き続きアンケートを実施し、利用者がメニューや食形態について選択できることを周知していく。また、他市の状況について調査を行う。